

佳作

## 「いもうとができてわかったこと」

茨城県

つくば市立竹園東小学校一年

木田 泰陽

ことしの4月に、ぼくにいもうとがうまれました。なまえは、さくらといいます。うまれるまえ、ままのおなかはずごく大きくなりたいへんそうでした。

3月に東かんとく大じしんがありました。ままのおなかは、大きくなりたいへんなのに水も電気もとまり、よしんもいっぱいありました。それでもままは、大丈夫、大丈夫とぼくをいっしょうけんめいまもってくれました。水がでなくてこまったとき、バケツで水をとりにきました。おもたそうにはこんでいる、ままを見て、ぼくは、思わずてつだいました。

4月になってあかちゃんがうまれてからもままは、ますます、たいへんになりました。あかちゃんとぼくのがっこうのじゅんびです。あかちゃんは、すぐなくなのでおっぱいをあげたりおむつをかえます。よるもねないで、おっぱいをあげているとままからききました。ま

まがあかちゃんにかまっているとき、ぼくはうらやましくおもい、すぐすねたりあまえたりしましたが、それでもままは、すぐにかまってくれました。

ある日、よるねるまえにままが、しくしくなっています。ぼくがきいたら、ちよつとつかれたといっています。そんなままを見てあまえてばかりでは、いけないと思いました。ぼくは、つよくなつてままをおてつだいしようときめました。するとままは、すこしづつ、えがおがふえていきました。ぼくは、ままのえがおがだいすきで、にこにこしているとうれしいです。いもうとができたから、ままたいへんさをするのができたし、ありがとうのきもちをおてつだいでかえしていきたいと思えました。そして、しっかりとしたおにいちゃんになれるようにがんばりたいです。だつてままは、ぜつたいそうなつてほしいと、おもっているはずだから。